



ボタニカルニュース ～牧野公園情報～

◆紅葉シーズン到来♪

秋も深まり、散策にぴったりの季節になりました♪全体的に花数は減っていきませんが、キク類は種類も豊富で長い期間楽しめます♪リンドウなども咲いています。
また、11月中旬頃からは紅葉も見頃になります☆ドウダツツジ、モミジ、イチヨウなど、公園全体が赤や黄色に彩られます。ぜひ遊びに来てください♪

◇ 11 月に見頃のお花♪

ツワブキ（石蓼）
キク科ツワブキ属。
牧野博士命名種。
花：10 月～ 11 月頃



キッコウハグマ（亀甲白熊）
キク科モミジハグマ属。
花：10 月下旬～ 12 月頃



シマカンギク（島寒菊）
キク科キク属。
牧野博士命名種。
花：11 月～ 12 月頃



タイキンギク（堆金菊）
キク科キオン属。
花：11 月～ 12 月頃



ノジギク（野路菊）
キク科キク属。
牧野博士命名種。
花：11 月下旬～ 12 月頃



まちまるごと植物園 ～まちの植物情報～

machimarugoto syokubutsuen

◆秋のお手入れ＆散策会

10 月 4 日、牧野公園で「秋のお手入れ＆散策会」が行われました。今年は鉢上げ会、植栽会ともに中止となってしまったために、久しぶりのイベント開催となりました。班ごとに分かれて、草を引いたり、枯葉の除去をしたりと、楽しく作業しました。参加された皆さんのおかげで、これからもきれいな花が見られそうです♪

その後は、はなもり C・L・O・V・E メンバーのガイド付きで、公園内を散策しました♪ちようどジョウロウホトトギスが見頃で、その美しさに皆さん、カメラやスマホを片手に大喜びで写真に収めていました。

また、当日は黒岩観光さんのツアー参加者も公園散策に訪れており、いつもより少し賑やかな一日となりました♪



青山文庫だより

田中光顕の先祖について

特別展の冒頭で、光顕の先祖について紹介していますが、実は、先祖の詳細はよくわかりません。

まず、佐川にやってきた先祖についてわかっている部分を列記すると、①先祖は長宗我部氏の遺臣であった浜田氏、②江戸時代に加茂村に移住し百姓となり、後に瑞応村へ移住する、③初代の妻が深尾重照（後の三代佐川領主）の乳母となつた縁で深尾家の家臣となる、の 3 点になります。

曾祖父は文右衛門（繁盈）、祖父は宅左衛門（光章）、父は金治（充美）である事はわかっていますが、実は、高祖父（曾祖父の父）以前については、名前自体が記載されている資料ごとに微妙に異なっています（D だ

けが人名に当主の代数を冠しているので、今回の特別展ではこれを紹介しています）。

系図は元禄時代に焼失したそう、光顕の父が先祖について調べて、いくつかの記録を作成したようですが、断片しか残っていないため、今となつてはわからなくなつてしまいました。とても残念です。

このような話を含めて、田中光顕に関する講演会を行いますので、ぜひご参加ください。

（青山文庫 藤田有紀）
△展示案内△

○特別展「志士最後の生き証人・田中光顕」9 月 12 日（土）～ 12 月 13 日（日）
△関連行事△

※共に参加費無料
○講演「志士最後の生き証人・田中光顕」11 月 21 日（土）13 時 30 分～ 名教館

○学芸員による展示解説 11 月 21 日（土）15 時 45 分～

	掲載資料	作成年	先祖名（記載順）								高祖父以前の記載	
A	浜田金治（充美）筆「先祖書（断片）」	不明	慶七（乳母夫）								1 人	
B	浜田金治（充美）筆「御代々様年数」	明治 16 年頃	乙之助	先笠之丞	善作	善作	後笠之丞	文右衛門	宅左衛門	充美	5 人	乙之助＝1 人 笠之丞＝2 人 善作＝2 人
C	『田中青山伯』	大正 6 年	初代笠之丞（乳母夫）	初代善作	二代笠之丞正満	二代善作	三代善作	文右衛門繁盈	宅左衛門光章		5 人	笠之丞＝2 人 善作＝3 人
D	『伯爵田中青山』	昭和 4 年	初代満之（乳母夫）	二代笠之丞	三代善作	四代笠之丞正満	五代文右衛門繁盈	六代宅左衛門光章	充美		4 人	初代＝1 人 笠之丞＝2 人 善作＝1 人
E	『維新夜話』	昭和 11 年	笠之丞（乳母夫）	初代善作	二代笠之丞正満	二代善作	文右衛門繁盈	宅左衛門光章	充美		4 人	笠之丞＝2 人 善作＝2 人

A＝初代は慶七（1618 年に妻が乳母となり召し出される）
B＝先祖死去からの年数を一覧にしたもの／先頭の乙之助は初代（乳母夫）より後の人物である可能性が高く、当主であったかどうかは不明
C・E＝名前に関している「〇代」は、各名前の代数
D＝名前に関している「〇代」は当主の代数

文 芸

川 柳

早起きへ 庭の緑が 眼に優し
口相撲 言葉交わして 送り出し
親子でも 役職で呼ぶ 社の規律
憑かれたる ものごと成る ものは成る
東 聖（ペンネーム）

俳 句

台風に 持っていられる 物何処
味元 佐知子
暦めくるや 灼熱のなか 九月の風
東 聖（ペンネーム）

短 歌

越えて越えて辿り着きなむ彼岸かな
苦しきことの生れ出でしを
S A T O U M I の大水槽に鯉一匹
どこか寂しげうつを思ひぬ
陽のささぬ大水槽の鯖の目は
白内障のごとにぐりをり
黒岩 英起
それぞれの日々の暮しを持ち抱え
喫茶に集う四方山話
湯に入り今日の疲れを拭い去る
心は明日の残りし稲刈り
福寿草（ペンネーム）

川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか？

※ 1 月号への掲載を希望される方は 12 月 1 日（火）まで
投稿方法：氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、ファックスにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。